

TOSHIBA LED コントルクス[®] (2線式) 3.2A 取扱説明書

WDG9013

このたびはLEDコントロールクス[®](2線式)3.2Aをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。
この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

この商品は、位相制御方式により調光可能な負荷の明るさを変える調光器です。

お客様へ この器具の取付工事は必ず電気工事に依頼してください。一般の方が行うことは、法律により禁止されています。
工事店様へ 施工前に必ずこの取扱説明書をお読みください。工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

⚠ 警告 発熱、焼損、火災、感電の原因になります	
禁止：してはいけない内容です。	必ず守る：実行しなければならない内容です。
<ul style="list-style-type: none"> ●指定の負荷以外は使用しないでください。(下記「使用できる負荷」参照) ●負荷容量を超えて使用しないでください。 ●コントロールクス[®]の近くではストーブや電熱器を使用しないでください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●負荷を交換する際は必ず入切スイッチにて電源を切ってから行ってください。 ●負荷の交換の際は同じワット数(定格入力電流)以下の負荷と交換してください。

■使用上のご注意

- 次のような場合は、「明るさ下限設定」で照明の状態を調整の上ご使用ください。
 - ・複数の負荷を接続し調光の下限付近で、明るさのばらつき・ゆらぎ(ちらつき)が発生している場合。
 - ・使用可能な種類の異なる負荷を組み合わせ使用し、消灯のタイミングが異なる場合。
 - ・単独の負荷を調光した際に、調光の下限付近でゆらぎ(ちらつき)が発生している場合。
- 同一の分岐回路で複数の調光器(東芝名称コントロールクス[®])を使用した際、特定の調光域で負荷にゆらぎ(ちらつき)が発生する場合があります。このような場合はコントロールクス[®]のツマミを調整して、ゆらぎ(ちらつき)が発生しない位置でご使用ください。
- ドライヤ、エアコン、電子レンジなどをお使いになった場合、コントロールクス[®]に接続した負荷の明るさが変化したり、調光下限付近で立ち消えやゆらぎ(ちらつき)が発生する場合があります。
- お住まいに供給される電源の波形にひずみなどが有る場合は、負荷に立ち消えやゆらぎ(ちらつき)が発生する場合があります。コントロールクス[®]のツマミを調整し、このような現象が目立たない位置でご使用ください。
- 付属の入切スイッチは外さずにご使用することをお勧めします。コントロールクス[®]のツマミを左に回し切り、ツマミのしるしが真下になると負荷は消灯しますが、コントロールクス[®]の電源が入ったままの状態になります。電源の入り切りは、入切スイッチで行ってください。
- 付属の入切スイッチをオンピカタイプに交換される場合は、3線式オンピカスイッチ(WDG1431)をご使用ください。その他のオンピカスイッチ、およびオンオフピカスイッチはご使用できません。
- コントロールクス[®]に接続した負荷が一齐に点灯・消灯を繰り返す場合は、コントロールクス[®]の定格を超えた負荷が接続されていることが考えられます。接続されている負荷の定格入力電流合計値を確認し、コントロールクス[®]の定格以内に調整後、使用を再開してください。
- コントロールクス[®]は電気用品安全法の雑音の強さの要求事項を満足しておりますが、ラジオやステレオなどの音響映像機器に雑音障害を及ぼす場合があります。このような場合は次の対策を行ってください。
 - ・音響映像機器はアース接続を行ってください。
 - ・ラジオ(チューナ)には有効なアンテナを張ってください。
 - ・コントロールクス[®]と音響映像機器およびアンテナ、アース線等はできるだけ(1m以上)離してください。
 - ・コントロールクス[®]と音響映像機器の電源は別配線とするか1m以上離してください。
- 化粧カバーやツマミが汚れたときは、やわらかい布か、ぬるま湯を湿した布をよくしぼってから拭いてください。器具を傷めますのでガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどの薬品で拭かないでください。

■使用できる負荷

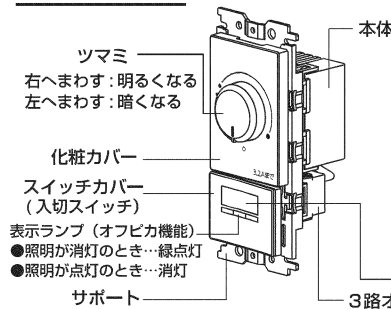
東芝ライテック(株)製の負荷に限りです

- 位相制御方式に対応した次の負荷が使用できます。
 - ・LEDランプ調光器対応、LEDユニット調光器対応、LED照明器具調光器対応
 - ・白熱灯 20W～320W(1灯あたり100W以下)
- 各種LED調光器対応負荷の接続可能台数の求め方
 - ・負荷接続台数=3.2(A)÷LED調光器対応負荷の定格入力電流(A)
 - ※定格入力電流(A)はLEDランプの仕様をご確認ください。
 - 例) 定格入力電流0.142Aの負荷のとき
 - 単独取付時: 3.2A÷0.142A=22.5 → 22台まで取付け可能
 - 連接取付時: 2.6A÷0.142A=18.3 → 18台まで取付け可能
 - ※LED調光器対応負荷に関する使用可能灯数など、最新の情報は東芝ライテック(株)のホームページなどでご確認ください。http://www.tlt.co.jp/tlt/
- ご使用の負荷を交換する場合、同じ種類・同じワット(定格入力電流)の負荷をお使いください。

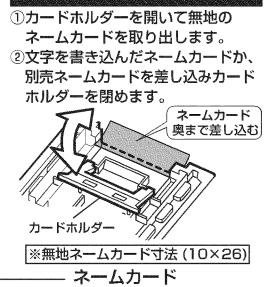
※以下の負荷はご使用できません。

- ・蛍光灯、水銀ランプ、低ボルトハロゲン器具、信号線式のLED照明器具調光器対応
- ※他社製のLED調光器対応負荷の接続については、対象負荷の製造メーカーにご確認ください。

■各部のなまえ



■ネームカードの使い方



- ・ツマミの「しるし」が真下を向いた状態でスイッチをオンにしても負荷は点灯しません。入切スイッチをオンにしてツマミをまわすと負荷はゆっくり明るくなります。
- ・ツマミの「しるし」がどの位置にあっても入切スイッチによるオンオフ操作は可能です。希望の明るさにツマミを合わせ、入切スイッチで負荷がオンオフできます。
- ・コントロールクス[®]はゆっくり明るくなる(フェードイン機能)とゆっくり暗くなる(フェードアウト機能)を備えています。
- ・ツマミの操作速度と負荷の明るさの変化速度が異なる場合がありますが異常ではありません。

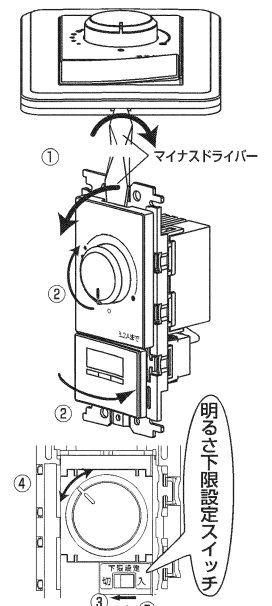
■明るさ下限設定方法

- ツマミで調整出来る暗さの下限を設定することができます。
- ※工場出荷時には、下限の出力電圧を約30%に設定してあります。
- 特に必要が無い場合は出荷時の設定でのご使用をお奨めします。

【下限設定の変更方法】

以下の手順で出荷時設定をリセット後、下限設定の変更を行ってください。

- ①化粧カバーを取り外す
 - ※ワイド・アイプレート(別売)取り付け後の場合、プレート化粧板を先に外してから、化粧カバーを取り外してください。
 - 取り外しの際は右図のようにマイナスドライバーを使用して取り外してください。
- ②入切スイッチを入れ、ツマミを回し負荷を点灯させる
- ③明るさ下限設定スイッチを「切」にする
 - ※設定を変更すると負荷が一瞬消灯し、ゆっくり明るくなります。
- ④負荷の状態を見ながら、ゆらぎのない範囲で、ご希望の暗さになるようツマミを調整する。
 - ※設定をより暗い状態にした場合、電源電圧の変化などでゆらぎや立ち消えが発生する場合があります。
- ⑤明るさ下限設定スイッチを「入」にする
 - ※明るさ下限設定スイッチ操作時にツマミに触れないように注意してください。ご希望の設定からずれが生じます。



※変更した明るさ下限設定ツマミ位置からツマミを左に回しても明るさは変わりません。ただしツマミを左に回し切り、しるしが真下になると、負荷はゆっくり暗くなり消灯します。(フェードアウト機能)

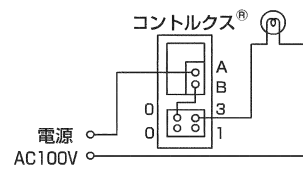
■施工上のご注意

- この器具は、屋内専用で-10℃～+35℃の範囲で使用するように設計されています。つぎの場合には取り付けしないでください。性能の低下および故障の原因となります。
 - ・ストーブなどの暖房器具の真上やその付近。・浴室など、特に湿気の高いところ。
 - ・有毒ガスや、ほこりが特に多いところ。・水や、薬品がかかるおそれのあるところ。
- 負荷容量を超えて使用しないでください。器具の温度が上昇し、故障の原因となります。単独取付の場合 3.2Aまで、連接取付の場合コントロールス® 1台あたり 2.6Aまでです。
 - ※施工条件：金属ボックス、樹脂ボックス、ボックスレス、グラスウール壁
- 工事の際は、必ず電源を切ってから行ってください。
- 負荷側または負荷配線を短絡させないでください。内部電子素子が破壊し、使用不可能となります。
- メガ測定はコントロールス®をはずして測定してください。サージ保護素子等の劣化や破壊の原因となります。

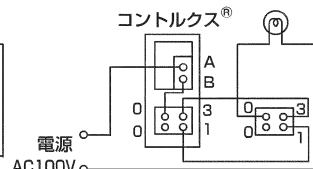
■配線のしかた (送り配線はできません)

結線例

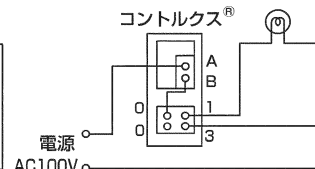
・コントロールス®のみで使用する場合
電線挿入穴「A」と「3」を使用してください。



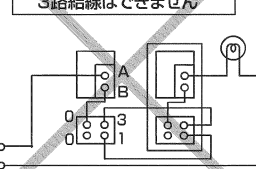
・コントロールス®と3路スイッチを
組み合わせて使用する場合



・付属のスイッチを3線式オンピカスイッチ
WDG1431と交換して使用する場合



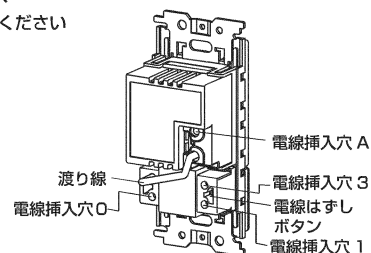
●コントロールス® 2台による
3路結線はできません



■取り付けかた

- ①化粧カバー、スイッチカバーをはずします。
- ②電線を接続します。
 - ・適合電線の被覆を器具底面のストリップゲージに合わせて12mm(10～14mm)むいてください。
 - ・電線挿入穴に電線を確実に奥まで差し込んでください。
- ③スイッチボックスに取り付けます。
 - ・ボックスねじでサポートをスイッチボックスに固定します。
 - ・プレートねじでワイド・アイプレート(別売)のアダプターをサポートに固定します。
 - ※ボックスねじはあまり強く締めないでください。
 - ボックスねじ締めトルクは0.4N・m以下で施工してください。

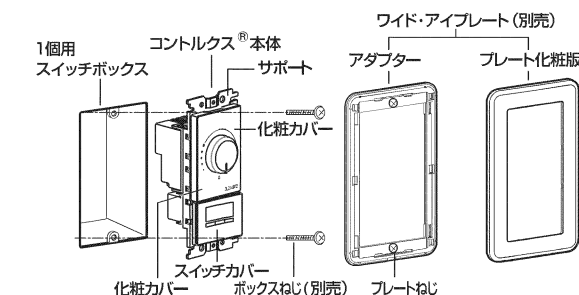
・付属のスイッチを取り外し、
WDG1431を取り付けてください



■仕様

形名	WDG9013
定格電圧	AC100V
定格周波数	50Hz, 60Hz 共用
適合負荷	<ul style="list-style-type: none"> ・LEDランプ調光器対応 ・LEDユニット調光器対応 ・LED照明器具調光器対応 ・白熱灯(20W～320W)「1灯あたり100W以下」
適合負荷容量	3.2A(連接使用時2.6A)
明るさ下限設定範囲	0～100%(明るさ比)
使用周囲温度	-10℃～+35℃
適合プレート	WIDE i用プレート(WDG5111など) 他のプレートは使用できません。

当社製の負荷に限りです



■保証とアフターサービス

- 保証期間** ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 保証内容** ・取扱説明書、本体貼付のラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

保証の免責事項

- 1.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (2)お買い上げの後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電圧(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - (4)車両、船舶などに搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - (5)施工上の不備に起因する故障や不具合
 - (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - (7)日本国内以外での使用による故障及び損傷
- 2.離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

修理を依頼されるとき

- ・保証期間中はお買い上げ日を特定できるものを添えてお買い上げの販売店(工事店)までお申し出ください。
- ・保証期間を過ぎている時は、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店(工事店)または東芝ライテック商品ご相談センターにお問い合わせください。その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店(工事店)へご相談ください。

販売店(工事店)に修理のご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック商品ご相談センター

0120-66-1048 (通話料:無料)
 受付時間:365日 9:00～18:00
 携帯電話・PHSなど 046-862-2772 (通話料:有料)
 FAX 0570-000-661 (通話料:有料)

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

お客様はお読みになった後も必ず保管してください。

(003WDG9013)A